

令和5年度の白井市第3次環境基本 計画の進捗状況について（報告）

白井市市民環境経済部環境課

令和5年度の白井市第3次環境基本計画の進捗状況について（報告）

【白井市第3次環境基本計画について（令和5年度環境審議会資料より抜粋）】

・白井市第3次環境基本計画は、計画策定時（令和2（2020）年度時点）の現状や市民・事業者・子ども向けアンケート調査、地区意見交換会などの市民参加を踏まえた上で策定し、市の環境政策の基本的な指針を示す普遍的な「基本理念」（計画書P13参照）に基づいて計画を推進します。

・また、市の目指す姿を共有し、計画の着実な推進につなげていくため、基本理念を踏まえた上、新たに環境の将来像「良好な環境を未来につなぐ 持続可能なまち」を設定し、市民・市民団体・事業者・行政の連携・協働により計画を推進し、良好な環境を未来につなぎ、市民が住み続けられる持続可能なまちを目指します。

・第3次計画では、5つの「基本目標」を設定し、SDGsで定められている17のゴールの内、関連性の高いゴールと整理することで、併せて各施策に取り組みます。

基本目標1 自然環境 豊かな自然と人が共生するまち



基本目標2 地球環境 地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち



基本目標3 生活環境 安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち



基本目標4 資源循環 ごみを減らし、資源の循環に取り組むまち



基本目標5 環境保全 環境にやさしいライフスタイルを広げるまち



白井市第3次環境基本計画のP16・17で施策（達成目標）を整理

環境の将来像

基本目標※1

施策の方向※1

施策

達成目標

良好な環境を未来につなぐ 持続可能なまち

基本目標1

自然環境
豊かな自然と人が共生するまち



①里山環境の保全



②生物多様性の保全



③まちのみどりの保全・創出



- (1) 森林の適切な保全の推進
- (2) 里山の活用と保全
- (3) みどりのネットワークづくり
- (4) 水辺が持つ多面的機能の活用
- (5) 農工商の連携による六次産業^{※1}化の促進
- (6) 農に親しめる環境づくり
- (1) 生物多様性の保全
- (2) 鳥獣被害・外来種対策
- (1) 公園・緑地の整備
- (2) 身近なみどりの創出

指標	現状値	目標値
森のグラウンドワーク活動 ^{※2} の参加者数	60人 (平成31年度)	80人 (令和7年度)
耕地面積	1,040ha (令和2年度)	1,060ha (令和7年度)
自然保護活動に取り組む市民の割合	1.8% (平成31年度)	2.3% (令和7年度)
市民1人当たり公園面積	9.48m ² (令和2年度)	9.5m ² (令和7年度)

基本目標2

地球環境
地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
地域気候変動適応計画



①再生可能エネルギーの普及拡大



②省エネルギーの促進



③交通対策による脱炭素化の推進



④脱炭素型まちづくりの推進



⑤気候変動への適応の実践



- (1) 再生可能エネルギー機器等の導入促進
- (2) 脱炭素な電力利用の促進
- (1) 省エネ機器等の導入促進
- (2) 省エネ活動の普及促進
- (1) 公共交通利用の促進
- (2) 次世代自動車の普及拡大
- (3) 自転車交通環境の整備
- (1) 脱炭素建築物の普及拡大
- (2) 公共施設等の省エネ等の推進
- (1) 風水害に強いまちづくり
- (2) 熱中症予防や感染症予防の推進
- (3) 農業・生態系への影響の防止

指標	現状値	目標値
市内の温室効果ガス排出量（産業部門以外の総量）	283,737t-CO ₂ (平成25年度)	152,039t-CO ₂ (令和12年度)
市内の温室効果ガス排出量（産業部門） ^{※2}	495,231t-CO ₂ (平成25年度)	444,521t-CO ₂ (令和12年度)
市内乗用車の登録台数に占める電気自動車、燃料電池自動車の割合	0.5% (平成31年度)	7.0% (令和12年度)
市内の再生可能エネルギー導入量	25,874kW (令和2年度)	47,003kW (令和12年度)
気候変動のリスクに備えている人の割合	73.3% (平成31年度)	90% (令和12年度)

基本目標3

生活環境
安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち



①健康・快適な環境の保全



②美しいまちづくりの推進



- (1) 大気汚染、水質汚濁、騒音・振動の防止
- (2) その他の公害の防止

- (1) 白井の個性を活かした良好な景観形成
- (2) まちの美化対策
- (3) 不法投棄の防止
- (4) 白井市の歴史的・文化的環境の保全

指標	現状値	目標値
大気環境（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント ^{※3} 、ダイオキシン類）に関する環境基準の達成割合（%）	75% (令和2年度)	現状値より増加 (令和12年度)
水環境（神崎川、金山落、下手買沼）に関する環境基準の達成割合（%）	67% (令和2年度)	現状値より増加 (令和12年度)
騒音（航空機騒音）に関する環境基準の達成割合（%）	100% (令和2年度)	現状維持 (令和12年度)
国・県・市指定文化財合計数	48点 (令和2年度)	48点 (令和12年度)
不法投棄された可燃・不燃・粗大ごみの重量	6.6トン (令和2年度)	現状値より減少 (令和12年度)
ごみゼロ運動の参加者数（累計）	3,887人 (平成31年度)	5,000人 (令和12年度)

基本目標4

資源循環
ごみを減らし、資源の循環に取り組むまち



①ごみ減量の推進



②ごみの資源化の推進



- (1) リデュース（発生抑制）の推進
- (2) リユース（再使用）の推進

- (1) リサイクル（再生利用）の推進

指標	現状値	目標値
家庭系一般廃棄物の一日当たり排出量	517g/人日 (令和2年度)	418g/人日 (令和12年度)
一般廃棄物の資源化率	15.6% (令和2年度)	17.8%以上 (令和12年度)

基本目標5

環境保全
環境にやさしいライフスタイルを広げるまち



①環境保全活動を実践するひとづくり



②連携・協働の仕組みづくり



③環境ビジネスの推進



- (1) 環境教育・環境学習の推進
- (2) 環境活動を率いるリーダー育成・活動の場創出
- (1) 市民・環境団体・事業者との連携
- (2) 国・千葉県・他自治体との連携
- (3) 環境団体の環境保全活動の促進
- (1) 環境ビジネスの創出支援・育成
- (2) 環境マネジメントシステムの構築支援

指標	現状値	目標値
市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数	720人 (平成31年度)	800人 (令和12年度)
市内の環境関係活動団体数	56団体 (平成31年度)	62団体 (令和7年度)
市民団体との協働による環境保全活動数	-	30回 (令和7年度)

令和5年度の進捗状況について（評価基準）

白井市第3次環境基本計画 評価基準
（第2次計画時と同様）

※年度毎の評価方法は
グラフ記載の参考線（目安値）
の達成状況から判定

表 1 環境指標の評価の基準

環境指標	指標評価
環境指標の実績値が参考線を上回っている（達成している）場合、順調に進捗していると評価する。	A
環境指標の実績値が参考線を下回って（達成して）いないが、参考値から 20%以上乖離していない場合、概ね順調に進捗していると評価する。	B
環境指標の実績値が参考線を下回っており（達成しておらず）、かつ参考値から 20%以上乖離している場合、進捗が芳しくないとは評価する。	C
その他・評価対象外（指標・目標が未設定、データ不足等）	-

表 2 環境指標が複数の場合の評価の例

環境指標	指標評価	点数化の方法	点数化	指標全体の評価方法	指標全体の評価
△△△の件数	A	A 評価 ⇒ 3 点 B 評価 ⇒ 2 点 C 評価 ⇒ 1 点	3	2.4 ≤ 平均値 ⇒ A 1.7 ≤ 平均値 < 2.4 ⇒ B 平均値 < 1.7 ⇒ C	(1+2+3)/3 = 2.0 ⇒ B
□□□の場所の数	B		2		
〇〇〇の値	C		1		